

九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

JMOOC「豪雨災害とその対策—平成29年7月九州北部豪雨災害を例に—」 受講生募集中

近年、日本各地で大きな自然災害が頻発しています。教材開発センターではMOOC講座第6弾として、自然災害の中でも、特に風水害・土砂災害を中心に、災害・防災の考え方について学ぶ「豪雨災害とその対策—平成29年7月九州北部豪雨災害を例に—」を7月25日(火)よりJMOOC(日本オープンオンライン教育推進協議会)から開講の予定です。今回の講師は、工学研究院附属アジア防災研究センターの三谷泰浩教授です。本講座は、豪雨災害に着目して、三谷先生が関わって来られた平成29年7月九州北部豪雨災害での事例を交えながら、災害の意味、防災の意味、そして災害が終わった後の復旧・復興について学んでいきます。

本講座の開講期間は3週間で、以下の講義内容です。5月30日から受講登録を開始しています。

- 1週目「自然災害と防災」
- 2週目「豪雨災害の特徴(平成29年7月九州北部豪雨災害からの経験)」
- 3週目「災害からの復旧・復興」

皆様の受講をお待ちしております。

【大井 京 准教授】



豪雨災害とその対策
平成29年7月九州北部豪雨災害を例に

募集中

2019年7月25日開講
豪雨災害とその対策—平成29年7月九州北部豪雨災害を例に—

九州大学 三谷 泰浩

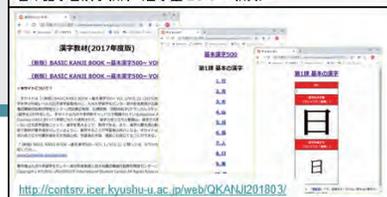
対面学習コースあり

OpenLearning

「電子教材開発に係るニーズ調査」にご協力を!!

本センターの主な活動は、講義等ビデオの撮影・編集・公開、MOOC(Massive Open Online Course)の制作、本学代表的研究者紹介ビデオ(動画版「先生の森」→森の映画館)の制作、ICTを活用した電子副教材の開発、およびその支援、著作権等電子教材の開発に係る各種講習会の開催です。最先端のICTを活用した学習効果の高い電子教材の提供により教育の質を改善するため、積極的に本センターをご活用下さい。

日本語学習漢字教材(留学生センター教員)



IoTセキュリティ学習教材(サイバーセキュリティセンター共同)



放射線治療トレーニング教材(医学部教員・学生協働)



ヘルスケア-Learning教材(キャンパスライフ・健康支援センター教員)



本センターの支援を必要とされている案件を調査するため、「電子教材開発に係るニーズ調査」を実施することとしました。以下の回答ページ・回答期間により実施する予定です。ご回答いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

【芳賀 瑛 助教】

「電子教材開発に係るニーズ調査」回答ページ：http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/topics_20190604
回答期間：6月10日(月)～30日(日)

2D/3D 教材開発システムのご紹介～ Vol.5～

「ハイスピードカメラ」

ハイスピードカメラは、1秒間に数千枚の画像を撮影する能力をもつカメラです。教材開発センターのハイスピードカメラは、1,600×1,600画素の解像度の場合500枚/秒、VGA(640×480画素)の場合3,000枚/秒という高い撮影能力を持ちます。家庭用テレビのように1秒間に30枚の画像を表示できる装置で見ると、100秒かけて3,000枚の画像を見ることになります。1秒という一瞬の出来事を100秒という長い時間で見ることになります。これがスローモーション映像です。肉眼では視認できない高速な動きを伴う実世界の様々な事象を理解するのに役立ちます。是非、教材開発や研究でご活用下さい。

教材開発センターでは、下記の機材を貸し出しています。
先生方の講義資料の作成や講義収録にお使い下さい。



【再掲】

～教材開発支援機材システムの貸し出しについて～

お問い合わせ、お申込みフォームはこちらから

http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/lectcast_use_apply

- ① デジタル顕微鏡 ② 光学式モーションキャプチャー装置
③ 3D スキャナー ④ 3D プリンター ⑤ ハイスピードカメラ
⑥ 視線追尾装置 ⑦ 360度VRカメラ ⑧ 講義収録配信システム

「Integrated Studies of Cultural and Research Resources」 オンライン出版のお知らせ

Newsletter No.29 でご報告しました 福岡市との連携により開発した 鴻臚館の Web教材/VR教材の開発技術に関する論文「Development Framework of Web-Based interactive 3D Educational materials and its extension for picture animations」がミシガン大学出版局fulcrumのオンライン出版「Integrated Studies of Cultural and Research Resources」に採録されました。本出版は、当センター教員が共同研究員を務めている 国立歴史民俗博物館の共同研究「総合資料学の創成」の活動をまとめたものです。ご興味ございましたら是非ご覧下さい。

<https://www.fulcrum.org/concern/monographs/zc77sr415>



【岡田 義広センター長】

全学FD「電子教材著作権」講習会の開催報告

去る令和元年5月13日(月)に全学FDとして 電子教材著作権講習会を伊都キャンパス(参加者11名)と馬出キャンパス(参加者2名)にてそれぞれ開催しました。昨年5月18日に 著作権法一部改正の法律が成立し、現在これに伴う補償金制度等について議論が進められています。また、TPP11(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)が昨年12月30日に発効しました。これに伴い、著作権の保護期間が著作者の死後50年から70年へ変更となりました。本講習会では、このような最新の情報についてもご報告しました。

次回は、12月に開催の予定です。是非、ご参加をご検討下さい。

*対象は本学に在籍する全教職員、大学院生および学部学生 お申込みは本センタートップページをご覧ください。 <http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/>



【岡田 義広センター長】